

- 物質一斉分析用ガスクロマトグラフィー／質量分析法データベースの開発. 分析化学, **53**, 581-588 (2004)
- 3) K. Kadokami, K. Tanada, K. Taneda, K. Nakagawa: Novel gas chromatography-mass spectrometry database for automatic identification and quantification of micropollutants. *Journal of Chromatography A*, **1089**, 219-226 (2005)
- 4) 陣矢大助, 岩村幸美, 門上希和夫: 固相抽出法とGC-MS自動同定定量データベース法による水試料中半揮発性化学物質の包括的分析法の開発. 環境化学, **21**, 35-48 (2011)
- 5) 上野英二, 椛島由佳, 大島晴美, 大野勉: データベースソフトウェアを用いたGC-MSによる農産食品中残留農薬の多成分一斉分析法. 食品衛生学雑誌, **49**, 306-319 (2008)
- 6) 工藤恵子, 石田知己, 池田典昭: ガスクロマトグラフィー質量分析による標準物質を必要としない乱用薬物一斉分析法の開発. *Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan*, **56**, 123-130 (2008)
- 7) 宮脇崇, 飛石和夫, 竹中重幸, 門上希和夫: マイクロウェーブ抽出を用いる土壌中有機汚染物質のスクリーニング法の開発. 分析化学, **62**, 971-978 (2013)
- 8) GC/MS精度管理・相対定量ソフトウェア NAGINATA, 西川計測株式会社, <http://www.nskw.co.jp/analytical/product/chemplus/naginata.php>
- 9) 世界保健機関: 環境保健クライテリア No.202, 多環式芳香族炭化水素 (PAH), 5 (1998)
- 10) 斎藤育江, 大貫文, 瀬戸博: 室内空気中フタル, 酸エステルの測定. 室内環境学会誌, **5**, 13-22 (2002)
- 11) 宮崎照美, 門上希和夫, 園田裕一, 陣矢大助, 山上仰, 東房健一, 尾川博昭: GC/MS全自動同定・定量データベースシステムにおける測定値の再現性の検証. 分析化学, **60**, 543-556 (2011)

**■ 支部だより ■**

## 東海・近畿・北陸支部

全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部の活動について報告します。(支部事務局: 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

### 1. 平成25年度支部役員会

- (1) 開催日時: 平成25年7月25日(金)
- (2) 場 所: 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター(大津市)
- (3) 議 事
  - 1) 平成24年度収支決算および監査結果報告書について
  - 2) 平成25年度収支予算(案)および会計監事の指名について
  - 3) 平成25年度全国環境研協議会会長賞被表彰者の推薦について
  - 4) 平成25年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部支部長表彰について
  - 5) 平成25年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部総会等開催要領について
  - 6) 平成25年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部専門部会による事業活動計画の応募について
  - 7) 平成25年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部総会における討論議題について

### 2. 平成25年度東海・近畿・北陸支部総会

- (1) 開催日時: 平成25年9月6日(金)
- (2) 場 所: 兵庫県民会館(神戸市)
- (3) 議 事
  - 1) 平成24年度事業報告および平成24年度収支決算について
  - 2) 平成25年度事業計画案および平成25年度収支予算案について
  - 3) 平成25年度役員会報告
  - 4) 支部行事担当機関順序案について
  - 5) 全国環境研協議会組織図等について
  - 6) 討議
    - ① 各機関相互の情報交換に関するもの
      - ア 組織のあり方について
      - イ 研究の連携について
      - ウ 全国環境研協議会への参加旅費の予算
      - エ PM<sub>2.5</sub>の注意喚起のための監視体制について

なお、支部総会終了後、支部表彰式が執り行われ、長年にわたり業務の推進に功績のあった5名の方が支部長から表彰されました。